

事業費補助金調査票(表)

| | |
|------|----------------|
| 補助金名 | 住宅等災害復興資金利子補給金 |
|------|----------------|

| | | | | | |
|----------|-----------|----|----|----|---------|
| 担当課 | 総務部 危機管理課 | | | | |
| 科目・事業コード | 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業 |
| | 01 | 02 | 01 | 10 | 65 - 01 |
| 事業名 | 災害復興支援事業 | | | | |
| 新規・継続の別 | 継続 | | | | |
| 補助・単独の別 | 県補 | | | | |
| 補助の種類 | 事業 | | | | |

| | | |
|---------|-------|----|
| R2実施計画額 | 15 | 千円 |
| R1 予算額 | 186 | 千円 |
| H30 決算額 | 351 | 千円 |
| H29 決算額 | 658 | 千円 |
| H28 決算額 | 1,193 | 千円 |
| H27 決算額 | 1,349 | 千円 |
| H26 決算額 | 1,195 | 千円 |

| 事業の趣旨・目的 | 東日本大震災において住宅等の全部又は一部に被害を受けた者等が金融機関から住宅等災害復興資金の融資を受けた場合において、市が当該住宅等災害復興資金の利子の一部に補助することにより、住宅等の復興を促進することを目的としている。 なお新規申請受付は平成30年3月30日で終了している。 | 補助対象者・経費・補助率 | 【補助対象者】 ・東日本大震災において住宅等の全部又は一部に被害を受け、金融機関から住宅等災害復興資金の融資などを受けた被災市民 【補助対象経費】 金融機関から、住宅等災害復興資金の融資を受けた場合において、市が当該住宅等災害復興資金の年利3% (年利3.5%未満にあつては、当該金利から0.5%を減じた額)を補助する 【補助率】 《市》融資額1,500万円以下 利子補給対象融資額の償還に係る利子のうち年利3% (年利3.5%未満にあつては、当該金利から0.5%を減じた額) 【国県等の補助率】 《県》融資額100万円以上500万円以下 年利1% (借入利率が1%をこえ、市町村が1%を超える利子補給を行った場合に県は1%を補助。) 【近隣自治体の補助率】 ・各市町が同一基準で実施 | | | | | | | | | | |
|----------|--|--------------|--|-------|--|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| | 開始年度 | | 平成 23 年度 | | | | | | | | | | |
| | 根拠法令等 | | (市) 成田市住宅等災害復興資金利子補給金交付規則 (県) 平成22年度の震災による被災者住宅再建資金利子補給事業補助金事務取扱要綱 | | | | | | | | | | |
| 留意事項 | 成田市住宅等災害復興資金利子補給金交付規則については、平成30年3月31日に廃止された。 | | | | | | | | | | | | |
| 決算内訳 | 平成 30 年度決算額等 (単位:千円) | | | 成果指標 | 成果指標: 交付件数 | | | | | | | | |
| | | 金額 | 件数 | | 割合 | (単位:件) | | | | | | | |
| | 全体事業費 | 1,364 | / | | / | | | | | | | | |
| | うち市補助金 | 277 | 10 | | 20.3% | | | | | | | | |
| | うち国補助 | 0 | / | | 0.0% | | | | | | | | |
| | うち県補助 | 74 | / | | 5.4% | | | | | | | | |
| | 自己負担 | 1,013 | / | 74.3% | | | | | | | | | |
| | | | | | <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>43</td> </tr> </table> | 年度 | 数値 | 平成30年度 | 10 | 平成29年度 | 25 | 平成28年度 | 43 |
| 年度 | 数値 | | | | | | | | | | | | |
| 平成30年度 | 10 | | | | | | | | | | | | |
| 平成29年度 | 25 | | | | | | | | | | | | |
| 平成28年度 | 43 | | | | | | | | | | | | |

事業費補助金調査票(裏)

| 項目 | | 担当課確認欄 | |
|---------|---|--|---|
| 公益性 | 補助事業の趣旨・目的が公益性のある事業に該当する | エ. その他市民の利益に寄与することができる事業 に該当 | |
| | 市の総合計画に合致する | 成田市総合計画の基本目標に掲げる、「安全・安心に暮らせるまちづくり」に合致する。 | |
| 必要性 | 補助事業の趣旨・目的が社会経済情勢や市民ニーズに適合する | はい | 東日本大震災の被災者に対する支援であり、市民ニーズに合致する。 |
| | 類似の補助事業はない | はい | |
| 妥当性 | 特定財源控除後の市補助率は1/2以下である | いいえ | 災害により被害を受けた市民に対する支援という性質であり、また、県内同一の基準で実施しているため、令和2年度も同内容の基準で実施する必要がある。 |
| | 近隣自治体と比較した本市の補助水準 | 普通 | |
| 明確性 | 個別の規則が整備されている | はい | |
| | 個別の要綱等が整備されている ※規則が整備されていない場合 | — | |
| | 要綱等に補助事業の趣旨・目的、対象者、対象経費、算定基準が明記されている | — | |
| | 成田市補助金等交付規則に基づき適正に交付している | — | |
| 有効性 | 補助金を交付することによる効果を明確に示す成果指標はあるか | はい | 交付件数 H28年度:43件、H29年度:25件、平成30年度:10件 |
| | 補助金額に見合う効果があると認められるか | はい | 東日本大震災からの復興の進捗とともに、利子補給件数は減少傾向にある。県内同一の基準で実施しているため、令和2年度も、継続して実施する。 |
| 補助対象外経費 | 成田市補助金等交付規則運用方針第10条各号に掲げる経費については、補助対象外としている (補助対象外経費) ・補助事業等に直接関わりのない人件費に係る経費 ・慶弔費及び交際費に係る経費 ・懇親会及び飲食に係る経費 ・慰労を目的とした旅費に係る経費 ・入場料等受益者負担で賄うべき経費 ・団体の資産形成(積立金等)につながる経費 ・その他補助することが適当でない認められる経費 | はい | |
| 課題 | | | |
| 最終評価 | 維持継続 | | |
| 評価者所見 | 本補助金については補助率が1/2を超える場合があるが、東日本大震災の被災者に対する支援ということもあり、必要なものである。 ただし、発災から10年近くが経過し、申請者も減少していたことから規則を廃止し、新規申請受付は平成29年3月31日で終了している。現在の対象者も令和2年度で利子補給期間が終了する予定である。 | | |